

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 国語】

□ 正答率の状況 □

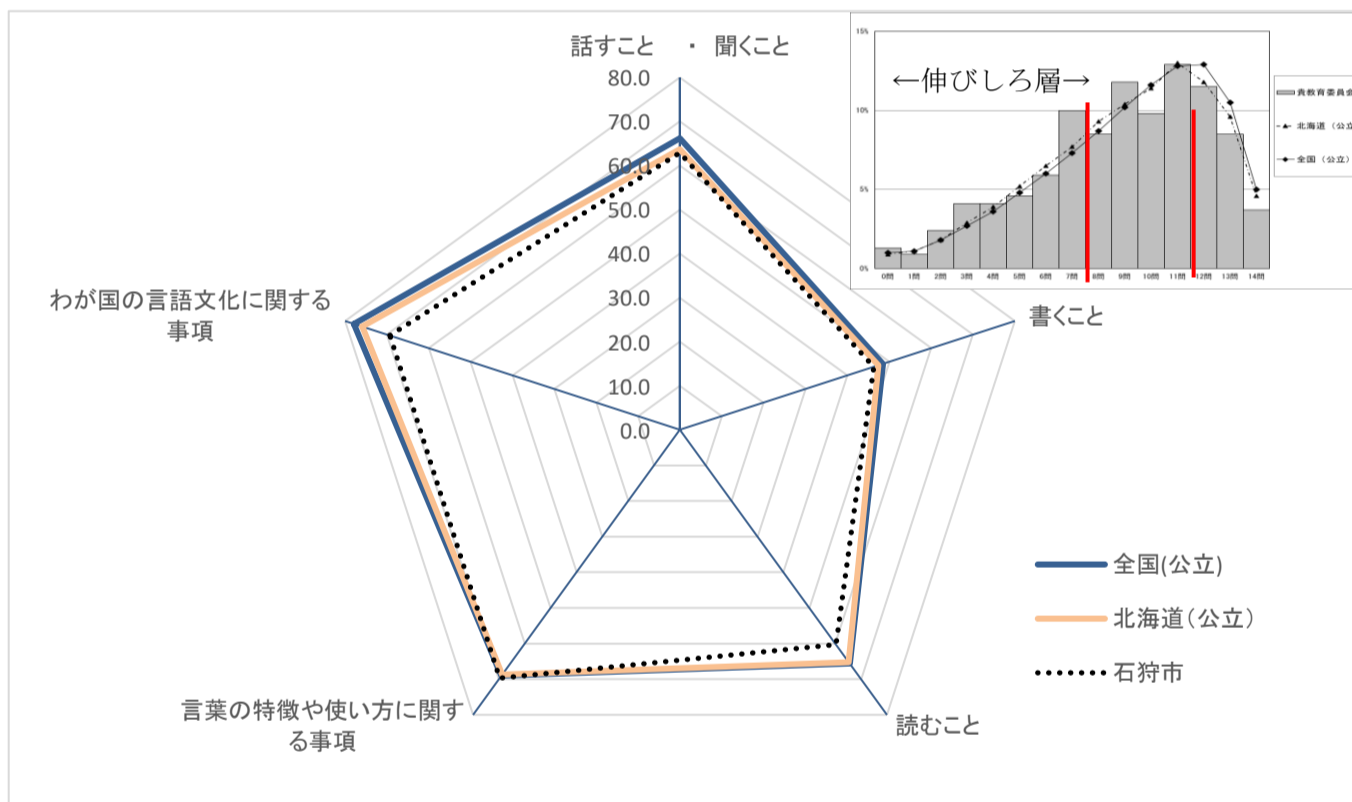
	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.2問/14問	65.6%
全道(公立)	9.0問/14問	64.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆		○			
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域等の平均正答率の状況 □

「正答数分布グラフ」



□ 国語科の概要 □

- ◇ 国語の正答率は、全国・全道平均との比較で、ともにほぼ同様（下位）の結果となりました。令和3年度との比較では全国との差はやや縮まる結果になりました。
- ◇ 領域別では、「話すこと・聞くこと」は全道と同様であり、全国とほぼ同様（下位）の結果でした。「書くこと」は全道・全国とほぼ同様（下位）であり、「読むこと」は全道よりやや低く、全国よりも低い結果でした。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全道とほぼ同様（上位）、全国と同様の結果でした。「我が国の言語文化に関する事項」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。
- ◇ 問題形式別の正答率では、「選択式」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。「短答式」は全道・全国とほぼ同様（上位）の結果でした。また、「記述式」は全道と同様であり、全国とほぼ同様（下位）の結果になりました。

国語

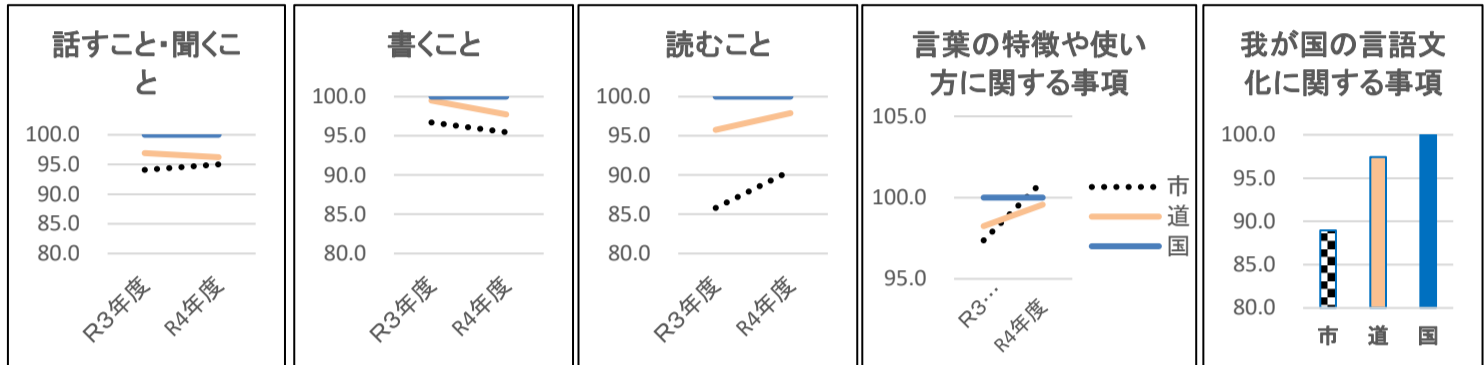
○調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕，〔思考力，判断力，表現力等〕の内容に基づき，全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお，小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- 話し合いにおける発言の理由として適切なものを選択する。
- 「ごみ拾い」と「花植え」から公園の美化活動にふさわしいものを選び，問題点についての解決方法を考えて，どのように話すかを書く。
- 物語から伝わってくることを考え，推薦する文章の内容を書く。
- 文章に対する感想の伝え合いを基にして，文章のよさを書く。
- 設問数は14問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回の調査との比較（但し，我が国の言語文化に関する事項は本年度のみ）



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は，全道とほぼ同様（下位），全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は，全道とほぼ同様（下位），全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は，全道・全国より相当低い傾向を示しています。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」は，全道・全国とほぼ同様（上位）の傾向を示しています。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」は，全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	言葉の特徴や使い方に関する事項	84.3%	85.4%	85.5%
1三	【話し合いの様子の一部】で，中村さんが前田さんに質問し，知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことと中心を捉える	話すこと・聞くこと	80.6%	83.2%	84.7%
3三ウ	【文章2】の中の——部ウを漢字を使って書き直す（したしむ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	言葉の特徴や使い方に関する事項	69.5%	65.8%	67.1%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで， <input type="text"/> でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，自分の考えをまとめる	話すこと・聞くこと	45.1%	44.2%	47.7%
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に，【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見付ける	書くこと	39.4%	35.8%	37.7%
2一(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述を基に捉える	読むこと	61.9%	67.6%	68.4%

【指導の改善にあたって】

【問題番号1四 話すこと・聞くこと】

- 互いの立場を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる指導の充実を図ることが大切です。
- ・ 「考えをまとめる」とは、話し合いを通して様々な視点から検討し、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等をまとめることです。考えをまとめる際には、異なる意見を自分の考えに生かせるように「～という意見もあったが」、 「～という考えもあるけれど」などの表現を用いられるようにすることが大切です。話し合いの目的や方向性を検討する場面を設定したり、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理する方法を指導したりすることが効果的です。

【問題番号3二 書くこと】

- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける指導の充実を図ることが大切です。
- ・ 文章に対する感想や意見を伝え合うとは、互いの書いた文章を読み合い、目的や意図に応じた文章の構成や展開になっているかなどについて、感想や意見を述べ合うことです。このことを通して、自分の文章のよいところを見付けることができるように指導することが大切です。目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝えたりする指導が効果的です。

【問題番号2一(1)読むこと】 *問題番号2の設問すべてで、全道・全国に比べ5ポイント程度低い。

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする指導の充実を図ることが大切です。
- ・ 物語の全体像は、登場人物や場面設定、個々の叙述などを基に、その世界や人物像などを豊かに想像することで捉えられます。また、表現の効果を考えるとは、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことです。「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読むことが大切です。物語全体を捉えられるようにしたり、着目した複数の叙述を基に考えたことを交流する場面を設定したりすることが効果的です。

【教科（国語）に関する意識（児童質問紙項目49～52，国1より）】

(49)	「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の59.7%、全国の59.2%に対して石狩市は59.3%で、全道より0.4ポイント低く、全国より0.1ポイント高くなっています。
(50)	「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の94.1%、全国の93.3%に対して石狩市は94.5%で、全道より0.4ポイント、全国より1.2ポイント高くなっています。
(51)	「国語の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の84.4%、全国の84.0%に対して石狩市は82.5%で、全道より1.9ポイント、全国より1.5ポイント低くなっています。
(52)	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の92.4%、全国の91.8%に対して石狩市は92.5%で、全道より0.1ポイント、全国より0.7ポイント高くなっています。
(国1)	「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道の77.6%・全国の78.0%に対して石狩市は79.7%で全道より2.1ポイント、全国より1.7ポイント高くなっています。関連して、3問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の11.2%、全国の9.6%に対して石狩市は10.9%で、全道より0.3ポイント低く、全国より1.3ポイント高くなっています。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 算数】

□ 正答率の状況 □

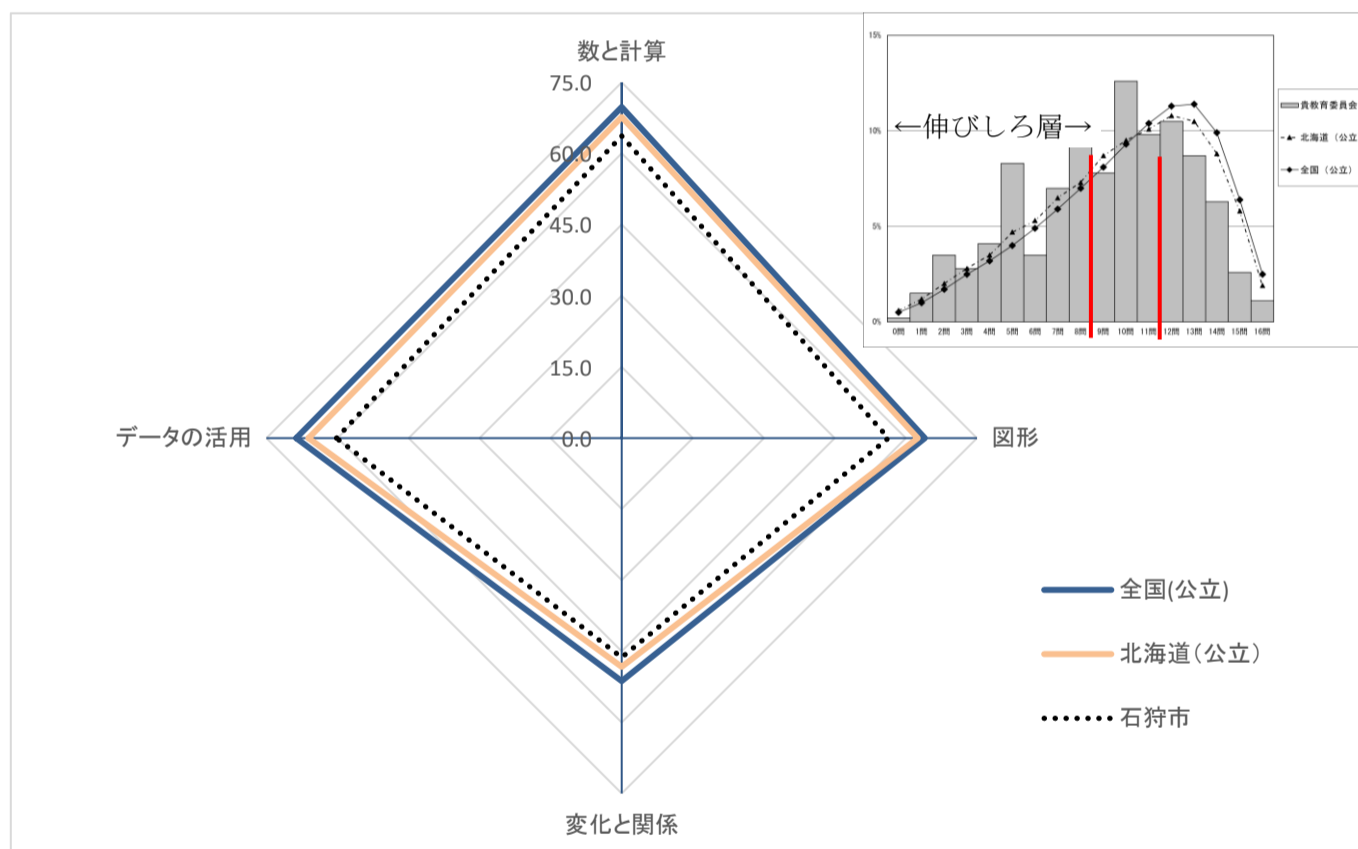
	算数	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	10.1問/16問	63.2%
全道(公立)	9.8問/16問	61.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆			○	

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 算数 領域等の平均正答率の状況 □

「正答数分布グラフ」



□ 算数科の概要 □

- ◇算数の平均正答率は、全道よりやや低く、全国より低い結果でした。令和3年度との比較では、全国との差が広がりました。
- ◇領域別では、「数と計算」では全道よりやや低く全国より低い、「図形」では全道より低く全国より相当低い結果でした。また、「変化と関係」では、全道とほぼ同様(下位)で全国より低く、「データの活用」では全道より低く、全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式の正答率では、「選択式」で全道・全国より低く、「短答式」は全道とほぼ同様(下位)で全国より低い結果でした。また、「記述式」は全道より低く、全国より相当低い結果となりました。

算数

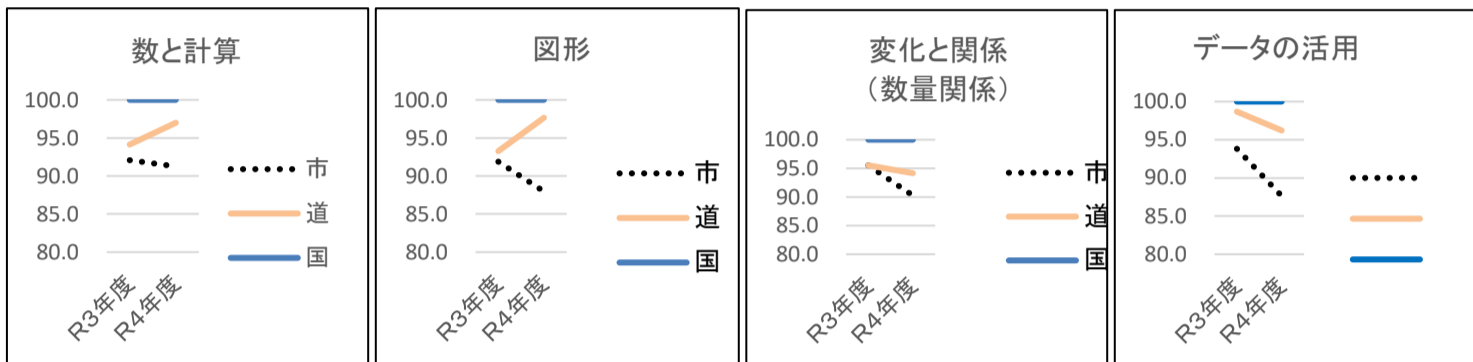
○調査問題の内容

学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- 21個入り1470円のBセットのカップケーキについて、その7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く。
- 果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く。
- 交流会の遊びについて、1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く。
- 辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ。
- 設問数は16問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回の調査との比較（但し、測定は本年度の出題なし）



- ・「数と計算」の領域は、全道より低く、全国より相当低い傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は、全道・全国より相当低い傾向にあります。
- ・「変化と関係」の領域は、全道よりやや低く、全国より相当低い傾向を示しています。
- ・「データの活用」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	1050×4 を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	数と計算	92.4%	92.3%	92.4%
1 (3)	カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	数と計算	73.2%	73.5%	76.0%
4 (2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	図形	76.0%	82.1%	83.2%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (4)	85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	数と計算	29.6%	36.0%	34.8%
2 (3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	変化と関係	18.1%	21.0%	21.4%

2 (4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる	変化と関係	35.9%	41.8%	48.0%
3 (1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	数と計算、データの活用	63.4%	70.2%	75.3%

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号1 (4) 数と計算】</p> <p>○ 目的に合った数の処理の仕方を考えることができるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて数を大きくみたり小さくみたりして、概算できるようにすることが重要です。その際、概数にする方法である切り上げ、切り捨て、四捨五入を用いて計算し、どの方法が適切であるかを判断できるようにすることが大切です。 <p>【問題番号2 (3), (4) 変化と関係】</p> <p>○ 基準量、比較量、割合の関係について理解できるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 割合を用いて問題を解決するためには、問題場面の数量の関係を捉え、基準量、比較量、割合の関係について理解し、数学的に表現・処理できるようにすることが重要です。その際、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにすることが大切です。 <p>○ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、未知の数量を求めることができるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量を見だし、一方の数量に伴って他方の数量がどのように変化するかに着目して、未知の数量を求めることができるようにすることが重要です。その際、表に整理して、二つの数量の関係に着目できるようにすることが大切です。また、二つの数量から割合を求めることができるだけでなく、示された割合になる二つの数量を考えることができるようにすることも大切です。 <p>【問題番号3 (1) 数と計算、データの活用】 *問題番号3の設問のすべてで、全国に比べ5ポイント以上低い。</p> <p>○ 目的に応じて、表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉え考察できるようにする指導の充実を図ることが大切です</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、必要なデータを収集し、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して考察できるようにすることが重要です。その際、分類整理されたデータについて、筋道を立てて考察できるようにすることが大切です。また、複数のグラフから適切なグラフを選択し、データの特徴や傾向を読み取ることができるようにすることも大切です。

【教科（算数）に関する意識（児童質問紙項目53～60，算1より）】

(53)	「算数の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の60.1%，全国の62.5%に対して石狩市は、59.8%で、全道より0.3ポイント、全国より2.7ポイント低くなっています。
(54)	「算数の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の94.3%，全国の94.2%に対して石狩市は95.9%で、全道より1.6ポイント、全国より1.7ポイント高くなっています。
(55)	「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の78.8%，全国の81.2%に対して石狩市は76.6%で、全道より2.2ポイント、全国より4.6ポイント低くなっています。
(56)	「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の93.1%，全国の93.3%に対して石狩市は93.5%で、全道より0.4ポイント、全国より0.2ポイント高くなっています。
(57)	「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に対する肯定的な回答は、全道の67.2%，全国の69.3%に対して石狩市は70.8%で、全道より3.6ポイント、全国より1.5ポイント高くなっています。
(58)	「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」に対する肯定的な回答は、全道の79.4%，全国の80.4%に対して石狩市は83.3%で、全道より3.9ポイント、全国より2.9ポイント高くなっています。
(59)	「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか」に対する肯定的な回答は、全道の74.8%，全国の76.8%に対して石狩市は76.6%で、全道より1.8ポイント高く、全国より0.2ポイント低くなっています。
(60)	「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」に対する肯定的な回答は、全道の86.2%，全国の85.7%に対して石狩市は87.9%で、全道より1.7ポイント、全国より2.2ポイント高くなっています。
(算1)	「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道の81.5%，全国の82.8%に対して石狩市は85.2%で、全道より3.7ポイント、全国より2.4ポイント高くなっています。関連して、4問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の7.0%，全国の5.8%に対して石狩市は6.0%で、全道より1.0ポイント低く、全国より0.2ポイント高い結果でした。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 理科】

□ 正答率の状況 □

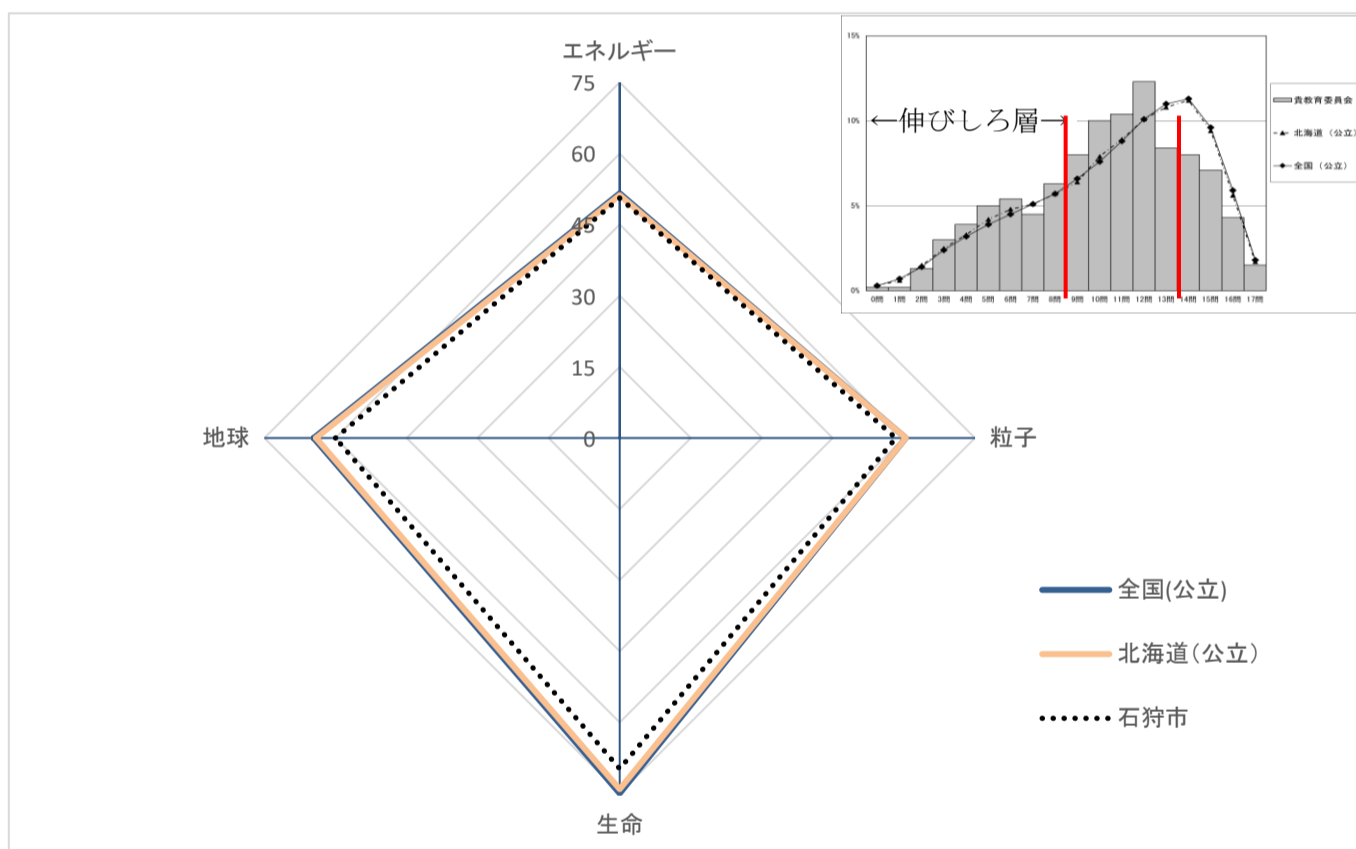
	理科	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	10.8問/17問	63.3%
全道(公立)	10.7問/17問	63.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆			☆				○	

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 理科 領域等の平均正答率の状況 □

「正答数分布グラフ」



□ 理科の概要 □

- ◇理科の平均正答率は、全道・全国よりやや低い結果でした。平成30年度との比較では、全国との差がやや広がりました。
- ◇領域別では、「エネルギー」では全道と同様で全国とほぼ同様(下位)、「粒子」では全道・全国とほぼ同様(下位)の結果でした。また、「生命」では、全道よりやや低く全国より低い、「地球」では全道・全国よりやや低い結果でした。
- ◇問題形式の正答率では、「選択式」で全道とほぼ同様(下位)で全国よりやや低い、「短答式」は全道とほぼ同様(下位)で全国と同様の結果でした。また、「記述式」3問の平均正答率では全道よりやや低く全国より低い結果となりました。

理科

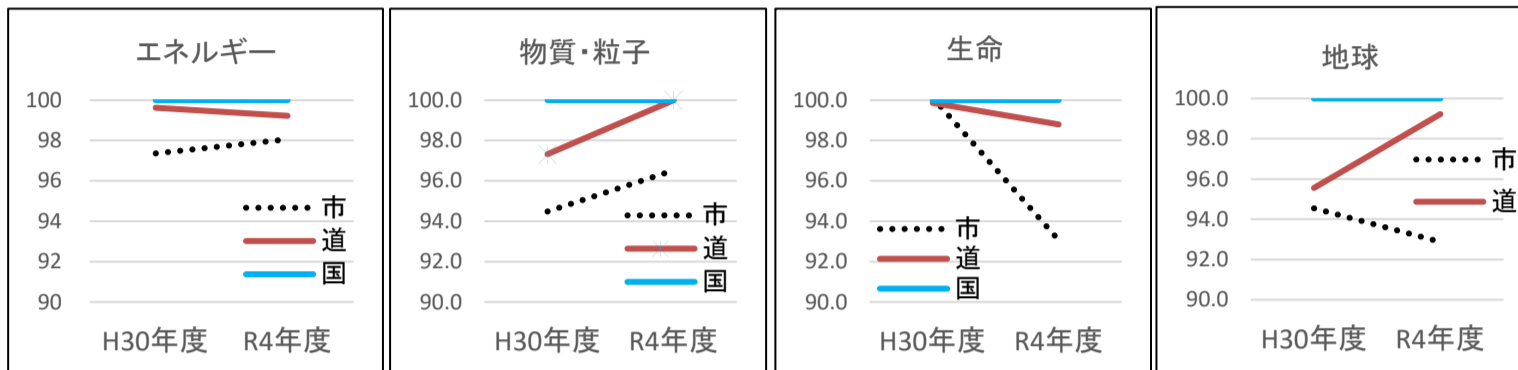
○調査問題の内容

学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、「A物質・エネルギー」、「B生命・地球」の二つの内容区分から、バランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- 昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫かどうか説明するための視点を選ぶ。
- 水溶液を凍らせた物について、「試してみたこと」を基に、見いだされた問題を書く。
- 重ねた日光と的の温度についての実験結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ。
- 夜の気温の変化について、他者の予想を基に、結果の見通しについて表したグラフを選ぶ。
- 設問数は17問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・「エネルギー」の領域は、全道・全国ほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「物質・粒子」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向にあります。
- ・「生命」の領域は、全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「地球」の領域は、全道より低く、全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる	生命	88.7%	92.7%	92.9%
2 (1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している	粒子	81.8%	74.3%	67.8%
4 (1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	地球	80.1%	81.1%	82.3%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3 (1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している	エネルギー	30.1%	28.3%	27.8%
3 (4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	エネルギー	31.0%	33.7%	35.1%
4 (3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる	地球	39.4%	45.5%	45.5%
2 (4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見出された問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	粒子	33.5%	36.8%	39.3%

【指導の改善にあたって】

【問題番号3（1）エネルギー】

- 観察、実験などで得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだすことができるようにする
- ・上記の指導の充実を図るには、観察、実験の結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定することが大切です。例えば、問題に対するまとめを行う際に、結果を具体的な数値として学級内で共有し、何を結論の根拠としているのかを明らかにし、より妥当な考えをつくりだす学習活動が考えられます。

【問題番号3（4）エネルギー】

- 観察、実験などの過程やそこから得られた結果を適切に記録するなど、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができるようにする
- ・上記の指導の充実を図るには問題を的確に把握し、何を記録する必要があるかについて検討する場面を設定することが大切です。例えば、「鏡ではね返した日光を重ねるほど、鏡の温度は高くなるのだろうか」という問題を解決する際に、結果の見通しについて話し合い、必要な記録内容を明らかにする学習活動が考えられます。

【問題番号4（3）地球】

- 観察、実験などで得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだすことができるようにする
- ・上記の指導の充実を図るには、結果などから結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えをもち、それらを話し合う場面を設定することが大切です。例えば、1日の気温の変化のグラフから、気温の変化の大きい時間帯や小さい時間帯と天気の様子との関係について読み取り、気温の変化と天気との関わりについて話し合う学習活動が考えられます。

【問題番号2（4）粒子】

- 自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、自分や他者の気づきを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにする
- ・上記の指導の充実を図るには、自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気づきを捉え、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす場面を設定することが大切です。

【教科（理科）に関する意識（児童質問紙項目61～69，理1より）】

(61)	「理科の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の81.8%、全国の79.7%に対して石狩市は、87.7%で、全道より5.9ポイント高く、全国より8.0ポイント高くなっています。
(62)	「理科の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の86.7%、全国の86.5%に対して石狩市は88.7%で、全道より2.0ポイント、全国より2.2ポイント高くなっています。
(63)	「理科の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の90.5%、全国の88.5%に対して石狩市は93.1%で、全道より2.6ポイント、全国より4.6ポイント高くなっています。
(64)	「理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に対する肯定的な回答は、全道の65.2%、全国の67.9%に対して石狩市は71.6%で、全道より6.4ポイント、全国より3.7ポイント高くなっています。
(65)	「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の75.9%、全国の77.2%に対して石狩市は78.6%で、全道より2.7ポイント、全国より1.4ポイント高くなっています。
(66)	「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の25.9%、全国の26.6%に対して石狩市は23.6%で、全道より2.3ポイント、全国より3.0ポイント低くなっています。
(67)	「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」に対する肯定的な回答は、全道の78.9%、全国の78.0%に対して石狩市は82.4%で、全道より3.5ポイント、全国より4.4ポイント高くなっています。
(68)	「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」に対する肯定的な回答は、全道の85.3%、全国の84.9%に対して石狩市は90.0%で、全道より4.7ポイント高く、全国より5.1ポイント高い結果でした。
(69)	「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」に対する肯定的な回答は、全道の71.9%、全国の72.2%に対して石狩市は78.1%で、全道より6.2ポイント、全国より5.9ポイント高い結果でした。
(理1)	「今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道の81.9%、全国の80.6%に対して石狩市は86.1%で、全道より4.2ポイント、全国より5.5ポイント高くなっています。関連して、3問あった記述式問題の無解答率の平均は全道の8.5%、全国の8.3%に対して石狩市は6.5%で、全道より2.0ポイント低く全国より1.8ポイント低い結果でした。